



はんなん
Hannan City Council

市議会だより

2020年
令和2年
8月号
NO. 117

発行：阪南市議会 編集：議会広報編集委員会 〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町35-1 TEL 072-471-5680(直通)



▲今後、阪南市の産業観光の魅力創出が期待される(株)青木松風庵『月化粧ファクトリー』の竣工式の様子
令和2年7月10日(金)



令和2年度一般会計補正予算(第1号)等を審議
－ 補正予算に対して、附帯決議を採択 －

2



令和2年度一般会計補正予算(第3号)等を審議
一般質問

5

7



幼保連携型認定こども園について

12

第 1 回
臨時会令和2年度一般会計
補正予算(第1号)を可決

附帯決議

行財政構造改革プランの前倒しなど、市長がリーダーシップをとって不退転の決意で断行すること。

補正予算

令和2年第1回臨時会を4月30日の1日間の会期で開催しました。本臨時会では、令和2年度補正予算1件を始め条例制定1件等を可決、承認しました。また、議会から提出した議会議案2件のうち、1件は賛成多数で可決、1件は賛成少数で否決。さらに、附帯決議1件を賛成多数で採択。意見書1件を全会一致で採択しました。

〔令和2年度阪南市
一般会計補正予算(第1号)〕

本補正予算の主なものは、新型コロナウイルス感染症対策にかかる費用で、国における緊急経済対策として実施する市民1人当たり10万円の給付にかかる費用計上等で、歳入歳出それぞれ56億8117万6千円増の237億2917万6千円となりました。

本議案は、総務事業常任委員会及び厚生文教常任委員会へ分割付託しました。

各委員会における主な質疑・答弁は、次のとおりです。

委員 行財政構造改革プランの真つただ中でコントロールが難しい状態での運営であるが、市としてのビジョンをしっかりと進めてほしい。

市長 手当に必要な財源の捻出には今まで以上にプランを進めるが、さらに不要不急の施策についても精査をする

必要がある。一致団結して財源の捻出に取り組む。

委員 子育て世帯への臨時特別給付金の手続きはどうなるのか。

課長 市役所から案内チラシを送付し、返送後、6月末に児童手当登録の口座に振り込む予定。



委員 特別定額給付金給付事業の阪南市のスケジュールについて伺う。

室長 5月中を目途に給付できるよう頑張りたい。

委員 休業要請支援金負担金について、事前に大阪府から調整等はあったのか。

市長 知事が記者発表するまでの調整は聞いていない。

委員 スピード感を持って進める必要は理解できるが、本市のような財政が厳しい市には、一定調整が必要と考える。

市長 災害時ということで、連動して同じようなことが出来なければいけないということも大事と考える。今後、こういう事態があれば調整をしていただきたいと伝えていきたい。

委員 休業要請支援金について、令和2年4月の売り上げが前年度同月対比の条件であるが、去年の5月以降に開業された場合の取り扱い。

課長 昨年の4月2日から11月30日までに開業の場合は、オープン翌日の翌月から12月までの平均、昨年の12月1日から31日までに開業の場合は、今年の1月から3月の平均など小刻みに設定されており、4月2日以降の開業も比較対象となっている。

◎全会一致で可決

附 帯 決 議

〔令和2年度阪南市一般会計補正予算
（第1号）についての附帯決議〕

（要旨）

今般上程されている一般会計補正予算（第1号）で、休業要請支援金負担金として大阪府へ負担する負担金が計上されている。

そこで、本負担金に関しては、以下に記す事項に留意することを求め決議する。

1. 新型コロナウイルス感染拡大防止に係る緊急事態宣言等により経営に甚大な影響を受けた事業者への支援は不可欠であり、可及的速やかに実施すべきと考える。
しかしながら、地方分権下における都道府県と市町村の本来「対等・協力」である関係を蔑ろにした今般の大阪府の事業に係る負担割合の決定は一方的であり、本市のように財政基盤が脆弱な市町村を軽視したもので看過できるものではない。今後、二度とこのようなことが繰り返されることのないよう、市長の責として大阪府へ申し入れること。

2. 本市の財政負担について、一般財源の負担が最小限となるよう市長の責として大阪府へ強くはたらかせかけること。

3. 今般の一般財源の負担により、一層財政状況は厳しくなることが見込まれることから、行財政構造改革プランを前倒しして行うなど、市長がリーダーシップをとって不転換の決意で断行すること。

◎賛成多数で採択

条 例 改 正

〔阪南市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正〕

新型コロナウイルス感染症に伴う非常事態に鑑み、現在、議員の任期満了まで5%削減している議員報酬に加え、令和2年5月1日から令和3年9月30日までの間プラス20%削減する（A案）と、令和2年5月分をプラス20%削減、令和2年6月から9月までをプラス5%削減する（B案）が提出されました。

◎賛成多数でB案可決

条 例 制 定

〔阪南市新型コロナウイルス
感染症対策基金条例制定（こいつ）〕

新型コロナウイルス感染症の蔓延により市民の生命や健康、暮らし、経済に甚大な被害が生じている現状を踏まえ、地域経済や感染症への対策経費が早急に必要となることから基金条例を制定するものです。

本議案は、総務事業常任委員会へ付託しました。

委員会における主な質疑・答弁は、次のとおりです。

委員 条例の第2条で、積み立てる額は一般会計の歳入歳出に定める額とあるが、いくらを想定しているのか。

室長 財政調整基金から1億円を取り崩す予定である。

委員 その金額で運用できれば良いが、増額することはないのか。

部長 まずは1億円をベースで運用していく。今後、一人でも多く、また1円でも多く集まれば、基金を活用して苦しんでいる皆様への施策に対応していきたい。

委員 この基金を活用して、今後、第2弾、第3弾と市民や事業者への支援が期待されるが、現時点でのイメージがあれば教えてほしい。

室長 夏休み期間中に授業が実施された場合の支援員の予算措置や緊急事態宣言を受けて、市から休館要請をしている指定管理等のキャンセルの返還相当額などを検討しているが、1億円の大半の支出先が決まっている。基金について、なるべく多くの方に周知徹底を図っていきたい。

◎全会一致で可決



意見書 を可決し国等に送付しました

○新型コロナウイルス感染対策に関する意見書（全会一致）

《要旨》

現在、世界各国をはじめ、国内全体で新型コロナウイルス感染者が増加の一途をたどり、国においては、新型インフルエンザ等特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が発出され、学校の臨時休業や大規模イベントの自粛要請、さらには国民に対し不要不急の外出を控える要請など、国民生活や地域経済に多大な影響を及ぼしているところである。

については、本市議会としては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関し、行政と連携・協議を図り、全力を挙げ取り組んでいくのは当然のこと、国においては、緊急経済対策の迅速かつ着実な推進を図られるよう、強く要望する。

第1回 臨時会にて可決・承認した議案等一覧

- ・ 専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第1号〕 阪南市税条例等の一部を改正する条例制定について
- ・ 専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第2号〕 阪南市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について
- ・ 専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第3号〕 令和元年度阪南市一般会計補正予算（第12号）
- ・ 専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第4号〕 令和元年度阪南市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
- ・ 専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第5号〕 令和元年度阪南市財産区特別会計補正予算（第1号）

- ・ 専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第6号〕 令和元年度阪南市介護保険特別会計補正予算（第4号）
- ・ 専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第7号〕 令和元年度阪南市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）
- ・ 専決処分事項の報告について〔専決第8号〕 損害賠償の額を定め、和解することについて
- ・ 阪南市新型コロナウイルス感染症対策基金条例制定について
- ・ 令和2年度阪南市一般会計補正予算（第1号）
- ・ 阪南市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について

賛否が分かれた議案	大脇 健五	河合眞由美	福田 雅之	山本 守	二神 勝	渡辺 秀綱	角野 信和	見本 栄次	上甲 誠	畑中 謙	中村 秀人	中谷 清豪	岩室 敏和	浅井 妙子	結 果
議案第30号 令和2年度阪南市一般会計補正予算（第1号）についての附帯決議	○	○	×	×	議長	×	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
阪南市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について（3ページ本文中A案）	×	×	×	×	議長	○	○	×	×	×	×	×	×	×	否決
阪南市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について（3ページ本文中B案）	○	○	○	○	議長	×	×	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成 ×…反対

第2回
定例会令和2年度一般会計
補正予算(第3号)を可決

やさしさ還元！

『第一波への緊急経済対策』と『コロナと共存する
新しい生活様式への対応と第二波への備え』

令和2年第2回定例会を6月9日から6月25日の17日間の会期で開催しました。本定例会では、令和2年度補正予算2件を始め条例改正7件等を可決、承認しました。また、議会から提出した議会議案1件は賛成少数で否決しました。

補正予算

〔令和2年度阪南市〕

一般会計補正予算(第3号)

本補正予算の主なものは、水道の基
本料金を減額するための水道企業団へ
の負担金の計上。市民の消費生活の支
援と市内事業者の売上向上を図る目的
にプレミアム付商品券の販売事業の委
託料の計上。GIGAスクール構想に
伴うICT整備に関する事業費の増額
等で歳入歳出それぞれ3億1243万
5千円増の240億5872万7千円
とするものです。

本議案は、総務事業常任委員会及び
厚生文教常任委員会へ分割付託しまし
た。

各委員会における主な質疑・答弁
は、次のとおりです。

委員 先般、大阪府の避難所マニユア
ルが上書きされ、感染症に対応した準
備に努めることとされているが、本補
正予算には加味されているのか。され
ていなければ、今後の対応は。

課長 府の指針に沿った形で避難所運
営がうまくいくように模索してマニユ
アルの策定を行っているところ。ま
た、これまでの災害に対する重要な物
品にアルコール等は含まれていなかっ
たが、新型コロナウイルス感染症の状
況を受けて、府のマニユアルが出る前
から、こういった備蓄に努めている。



委員 新型コロナウイルス感染症対策
基金と応援基金の両輪で最大限度効果
があるように使用してほしい。

副市長 臨時交付金については、第二
次についても、額を確保できるように
したい。応援基金については、推進す
るための会議を立ち上げており、事業
提案について整理をしている。

委員 GIGAスクール構想におい
て、指導される教員の指導力向上プロ
グラムの考え方について伺う。

課長 オンラインを活用した授業につ
いて、プログラミング教育も含め様々
な資料を学校に提供している。また、
今後の取組を学校の先生とともに考え
る場も設け、研修も適切に行う。

委員 プレミアム付商品券販売等業務
委託について、どのような方向で進ん
でいくのか。

課長 地域経済を活性化させることを
目的として、地方創生臨時交付金を活
用し、本市独自の支援策のひとつとし
て、事前登録いただいた市内の各店舗
において共通で使用できるプレミアム
率25%を付加したプレミアム商品券を
発行する。広報8月号の折込みで周知
し、9月中旬から使用可能となるよう
考えている。

◎全会一致で可決

財産の無償貸付けについて

本議案は、平成23年4月に「さつき園・まつのき園」を民営化した際、障がい福祉サービス事業等の安定した運営に資するため、市有財産を10年間無償貸与していた契約期間が終了することから、民営化後の同法人の成果と実績を評価し、引き続き財産の無償貸付けをするものです。

本議案は、厚生文教常任委員会に付託しました。

委員会における主な質疑・答弁は、次のとおりです。

委員 行財政構造改革プランでは、「2020年度末で土地・建物の無償貸与の契約が終了するため、その後の有償化に向け、調整を行います。」とされているが、今回無償貸付けの結論に至った経緯の説明をお願いする。

課長 昨年度から日本ヘレンケラー財団との交渉に加えて、市内部でも慎重に調整を重ねてきた。その検討経過を経て、無償化継続とした理由として、1点目が運営している法人の経営状況。法人側の経営状況は厳しく、令和元年度の決算で赤字となり、有償化された場合、その費用を支払う余裕はないが、引き続き無償化であるならば、阪南市の障がい福祉の中核施設として

引き受けた業務の運営継続は可能とのこと。2点目は、広範囲に重度障がい者支援を展開する事業者が他にないという問題。3点目が補助金の返還で、有償化した場合、補助金適正化法に基づき、補助を受けた国の施設整備費補助金のうち、約630万円の一括返還が生じることがこの間大阪府や国への照会で判明。以上のことから、令和3年4月以降も安定した障がい福祉サービスを保障するとともに、本市の「障がい福祉の中核施設」として運営への継続的な後押しが必要と判断した。

◎全会一致で可決



▶さつき園・まつのき園の外観

第2回 定例会にて可決・承認した議案等一覧

- ・専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第9号〕阪南市税条例の一部を改正する条例制定について
- ・専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第10号〕阪南市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第11号〕阪南市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- ・阪南市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- ・人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて
- ・人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて
- ・財産の無償貸付けについて
- ・阪南市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について

- ・阪南市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定について
- ・阪南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ・阪南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ・大阪広域水道企業団規約の変更に係る協議について
- ・令和2年度阪南市一般会計補正予算（第2号）
- ・令和元年度阪南市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について
- ・特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・令和2年度阪南市一般会計補正予算（第3号）
- ・阪南市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- ・阪南市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

賛否が分かれた議案	大脇 健五	河合眞由美	福田 雅之	山本 守	二神 勝	渡辺 秀綱	角野 信和	見本 栄次	上甲 誠	畑中 譲	中村 秀人	中谷 清豪	岩室 敏和	浅井 妙子	結果
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の設置について	○	○	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	○	○	否決

○…賛成 ×…反対

第2回 定例会

一般質問

9人の議員が個人質問を行いました。
その主な内容を掲載します。



コロナ対策費用としての予算の 組み替えについて

角野 信和



問 歳入について、市税や固定資産税・都市計画税等の納付の猶予による歳入不足が危惧される一方で、イベントや事業の中止による歳出の削減があり、未使用金が発生する。未使用金については、コロナ対策費用として全額流用するよう予算を組み替えるべきと考えます。

市の基本的な考え方を、問う。

答 市税の納付猶予により、一時的に歳入に不足が生じるが、市税収入の不足分は、国の財政措置を活用していく。

事業の中止や機関の閉鎖による歳出削減に関して、現在、全庁的に見直しに着手している状況である。見直しの内容を取りまとめた時点で、歳入歳出差の一般財源相当額を基本に予算の組み替えを行いたいと考えている。

イベントや事業の中止による歳出削減の未使用金をコロナ対策費用として予算を組み替えるべきと考えるが、いかがか。
現在、全庁的に見直しており歳入歳出差の一般財源相当額を基本に予算の組み替えを行いたい。(総務部長)



阪南市総合戦略と行財政構造 改革プランについて

上甲 誠



問 本年再び作成する総合戦略について前計画の達成度となぜ未達成なのかの理由、及び市長の選挙公約に含まれるにも関わらず未達成である項目に対する市民への説明はどうするのか。

また、行財政構造改革プランについて市長は「財政力指数を上げることが目的」と言ったが、本プランを基にして、市職員のやる気を促し、市民と阪南市の将来を考え直し、実行することが行革の目的とかがいかがか。

答 総合戦略については17個の目標のうち達成したものは2個である。事業効果としては見えにくいだが着実に地方創生の推進に繋がっている。選挙公約が未達成な原因は財政を立て直すことに注力しているからである。本年5月に職員施策提案制度を一部見直し、職員が提案しやすい仕組みづくりとなるよう工夫、優秀な提案については行政経営計画に反映し、住民が主導する形で公民協働のまちをつくっていく。

本年再び作成する総合戦略について、前計画の達成度となぜ未達成なのかの理由は、総合戦略については17個の目標のうち達成したものは2個である。事業効果としては見えにくいだが着実に地方創生の推進に繋がっている。(総務部長)



コロナ禍の長期化を見据え新たな行財政改革を策定し財源確保すべき



渡辺 秀綱

問 平時の財政規律堅持はもちろんであるものの、新型コロナウイルスの影響が長期化することを見据え市民への支援策が今後もまだまだ必要になる、と考える。そこで遂行中の行財政構造改革の加速、本年度実施事業の見直しや前年度決算剰金の繰入れなど今後のその備えとして更なる財源確保をすべきで、そのため新たな行財政改革案を策定し挑むべきと考えるが、水野市長の見解をお伺いする。

市民への支援策が今後も必要になる為、追加の財源確保を可能とする新たな改革案を策定すべきと考えるが、市長の見解をお伺いする。

行財政構造改革プランの追加取組とプランの積極的な見直しや本年度の実施事業の見直しによる予算組み替えにより財源を確保する。(市長)



答 コロナ禍における「新たな生活様式」への対応として、秋に策定予定の「総合戦略」に市の新たなスマートシティ構想を反映させて参る。また市民生活への支援については、国の臨時交付金を最大限に活用することに加え、実施事業の見直しによる予算組み替えを早急に進めるとともに、現在進行中の行財政構造改革プランの追加取組による改革を加速させ、今後、さらなる自主財源の確保に努めていく。

コロナ感染拡大防止による3ヶ月に及ぶ休校中の家庭への対応について



浅井 妙子

問 今回の対応については、初めてのことで、重症化すれば死に至る感染症ということもあり、学校現場も対応を決めかねたことと思うが、保護者にとっては、子どもが家にいることでの不安やストレス、いつ学校が始まるのかが全く見えない、誰にどう聞いていいかもわからない状況だった。また「緊急受け入れ」では、実際には困っているも利用しにくかった状況についての振り返り、今後への課題をお聞きする。

いつ学校が始まるのか、誰にどう聞いていいか、もわからない状況や「緊急受け入れ」を振り返り、今後への課題をお聞きする。

数々の意見を参考に、子どもたちや保護者の方の不安に学校再開後においても、一層寄り添った対応が必要であると考えている。(生涯学習部長)



答 3月以降、学校園においてこの間に行ってきた措置で、数々のご意見を参考に、今後の対応に生かしていきたい。子どもたちや保護者の方の不安については、学校再開後においても、一層寄り添った対応が必要であると考えている。このような緊急時の家庭や子どもたちとの連絡体制が課題であることから、オンラインで家庭とつながる整備に向け努力するとともに子どもの健やかな学びの保障に取り組んで参る。

阪南市行財政構造改革プラン
進捗状況一覧

令和2年3月
阪南市

その他の質問事項

- 緊急時の情報の伝え方と市民の声への対応について
- 市民協働の今後について



議会目録

4月

- 15日 議会広報編集委員会
- 21日 議員連絡会
- 27日 全員協議会
- 28日 議会運営委員会
- 30日 第1回臨時会
- // 総務事業常任委員会
- // 厚生文教常任委員会

5月

- 11日 総務事業常任委員会
- 13日 厚生文教常任委員会
- 21日 議員連絡会

6月

- 4日 議会運営委員会
- 9日 第2回定例会(1日目)
- 10日 第2回定例会(2日目)
- 11日 第2回定例会(3日目)
- 15日 総務事業常任委員会
- 17日 厚生文教常任委員会
- // 子育て拠点整備特別委員会
- 19日 議員連絡会
- // 議会運営委員会
- 25日 第2回定例会(最終日)
- 29日 泉州南消防組合議会議会運営委員会・全員協議会

総合窓口の開設を



岩室 敏和

問 私は、市役所は市民のみなさんのお役に立つ所であり、最大のサービス業であると考えている。この観点より、転入届、転出届等にかかる窓口での手続きを見ていると、はんぎつで手間がかかり、はじめて来庁された方等には、不便でとまどわれることが少なくないのが現実である。市民のみなさんの利便性と市民満足度を高め、窓口業務の改善、効率化、スピード化を実現するために、総合窓口の開設を提案する。

答 総合窓口は、重要なテーマであると認識している。市民サービスの向上、事務の効率化、コロナ後の社会情勢の視点から、ワンストップサービスの検討は必要であり行政構造改革プランでも取組項目の一つとして掲げている。今後行政手続きのオンライン化にも併せて取組み、マイナンバーカードの普及や市役所で発行する各種証明をコンビニ交付の検討も行い、総合的に窓口サービスの改善を図っていく。

☀️ **窓口業務の改善、効率化、スピード化を実現するために、総合窓口の開設を提案するがどうか。**
総合窓口は、重要なテーマであると認識しており、総合的に窓口サービスの改善を図っていく。(市長)



コロナ禍にかかる高齢者福祉について



福田 雅之

問 新型コロナウイルス感染拡大により介護の現場にも深刻な影響を及ぼした。介護者と利用者が接触せざるを得ない介護の現場では感染を防ぎつつどのようにサービスを維持していくのか検討された。また、外出自粛の要請がなされ、家に閉じこもりがちで日々が続くなか、健康維持に務めることが大切であり、高齢者へのフレイル予防の取組が重要であると考える。本市の高齢者支援について問う。

答 自主的に事業を自粛する介護事業所があったことから、被保険者が必要な介護サービスを継続して受けられるような情報を共有するためのICT活用の取組やマスク配布の物資支援を行ってきた。また、外出自粛による高齢者の運動不足から、市の広報誌に、健康体操の掲載やフレイルを予防するためのパンフレット等を配布している。「いきいき百歳体操」の参加者には、DVD200枚配布を行った。

☀️ **介護現場にも深刻な影響を及ぼしたが、介護サービスを維持していくためにどのような検討がされたのか。**
介護サービスを継続して受けられるよう情報共有のICT活用やマスク配布の支援を行った。(市長)



請願・陳情の出し方

請願書、陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

- ①：請願（陳情）書は、その件名、要旨及び理由を簡単に、わかりやすく書いてください。
- ②：提出年月日、提出者の住所、氏名を書いて押印してください。
- ③：請願書は1人以上の紹介議員が必要で、表紙に署名または記名押印してください。
- ④：紹介議員がないときは、陳情書としてください。
- ⑤：道路等は簡単な略図・図面等を付けてください。

《記入例》

(表紙) ※(請願の場合) 紹介議員 氏名 ㊟ ○○に関する請願(陳情) 請願(陳情)者 住所 氏名 ㊟	(内容) ○○に関する請願(陳情) (要旨) (理由) 令和 年 月 日 阪南市議会議長(氏名)様
-----------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------

※請願・陳情に記載された個人情報（住所、氏名等）については、会議録等へ掲載されるほか、行政文書として情報公開の対象となりますので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染防止対策について

河合 眞由美



問 コロナ対策に関わる予算的対応、具体的感染防止対策、コロナの影響で困難に直面している市民、経営者の方々に対する支援策などを問う。
 国において第2次補正予算が閣議決定された。交付金などを活用した本市の施策展開を伺う。また、りんくう総合医療センターが感染予防指定により一般救急の受け入れを停止した。市民病院をはじめ周辺医療機関に何らかの影響があったかと思われるが、いかがか。

答 本市は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し対策を進めているところである。また、国の財源はもとより、本市が独自設置した「やさしさ集まれ！コロナ対策応援基金」を活用し、コロナ後を見据えた地域活性化等に向け、さらなる対策を講じて参る。阪南市民病院は、地域医療を支える医療機関として、可能な限り救急患者の受け入れを行い、泉州地域の救急医療体制の構築に取り組む。

コロナ対策の支援策や交付金などを活用した本市の施策展開を問う。
 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しながら対策を進めている。(市長)



園児や児童・生徒の安全確保と精神的ケアについて

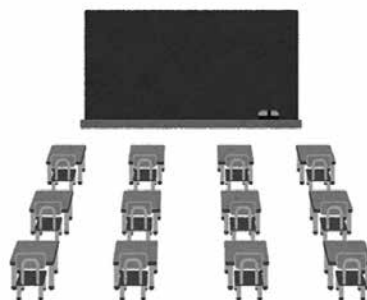
山本 守



問 長期休校、分散登校、再開後の新しい生活様式など、誰も経験したことがない。個々の子供の事情で何が起るか、始まってみないとわからない部分も多い。学びの遅れを取り戻すのに焦っている親や教員もいるかもしれない。子供たちの側に立って、環境を整えることが最優先。長期休園・休校による子供たちの心身のケアと子や保護者の相談窓口に関する情報発信についてどうお考えか。

答 学校では、教職員が保護者や児童・生徒のケアを計画支援するほか、スクールカウンセラーが直接カウンセリングを行い支援している。教育相談体制については、学校教育課の教育相談窓口の案内を広報誌等で周知を図っており現在、教育相談件数は減少しているが、昨年と異なる学校運営に起因し様々な課題の表出が想定される。今後とも引き続き子どもたちや保護者の皆様に寄り添い、心身のケアに努めて参る。

長期休園・休校による子どもたちの心身のケアと保護者の相談窓口に関する情報発信について問う。
 学校では教職員が子どもたちのケア計画を支援、教育相談窓口は広報誌やウェブサイトにて掲載し周知を図っている。(生涯学習部長)



「定例会及び委員会の録画映像」を見ることができます。

市議会のウェブサイトでは、次回定例会のご案内や一般質問通告書、議決結果表、議会だより、定例会の「録画映像」等を掲載しています。

また、「会議録検索システム」を市議会ウェブサイトに掲載しています。これにより、本会議での内容を記録した「会議録」、委員会での内容を記録した「委員会録」をインターネットを通じてご覧いただけるようになっています。

市議会ウェブサイトには、阪南市ホームページ左段にある「阪南市議会」のボタンをクリックしていただくとアクセスできます。多くのアクセスをお待ちしています。



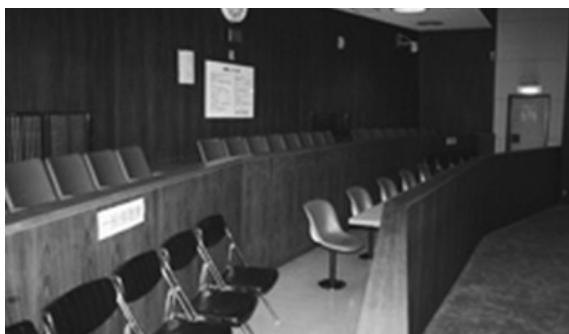
あなたも議会を傍聴しませんか

市議会には定例会（3月・6月・9月・12月）と臨時会（必要の都度）があります。傍聴には難しい手続きは不要です。本会議当日、議会事務局の受付で住所、氏名等を記入していただくだけで自由に傍聴できます。議場の定員は34人です（先着順・受付開始時間は8時45分から）。また、委員会室や市役所ロビーでのテレビ中継も行っています。

どうぞお気軽にお越しください。

また傍聴された方を対象にアンケートを実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。

なお、6月定例会の傍聴者数は、延べ21人でした。



会議録は、図書館・公民館・情報公開コーナー、または市議会ウェブサイトで閲覧できます。

なお、6月定例会の会議録は8月末頃に完成予定です。

次の定例会は、
9月1日(火)から
の予定です。

詳しくは議会事務局まで

☎471-5680(直通)

地場産業の振興と雇用対策について



大脇 健五

問 地場産業の振興と雇用対策は、長期的な視点から極めて重要な課題である。地元で仕事を発注し、地元で利益が循環する、そういった仕組みづくりとともに雇用が生まれることで、人口減に歯止めをかけ、移住・定住の促進につながる。具体的な施策はあるか。

また、青木松風庵が近くオープン予定と聞いているが、雇用や税収面での波及効果はどう見ているか。

答 市内企業については、地元の方に働いてもらいたいという企業と地元で働きたいという方をつなげるため、市は阪南市商工会と連携し、地元企業が参加する合同就職面接会に協力し、毎年採用までに至る効果がでている。

また、最近の雇用創出では市内の大型家電量販店跡地に菓子製造工場が新設されることになっており、開業に伴い一定の雇用が見込まれている。

地場産業の振興と雇用対策は、長期的視点から極めて重要な課題と考えるがどうか。

地元企業が参加する合同就職面接会に協力し、採用効果が見込まれているほか、菓子製造工場開業に伴い一定の雇用が見込まれている。(市民部長)



○太陽光発電投資事業について

その他の質問事項



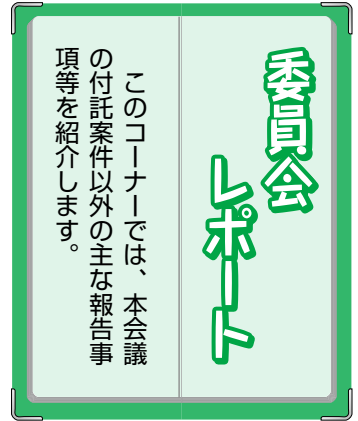
▲青木松風庵の外観

政務活動費の交付実績を、 阪南市議会ウェブサイトにて公開しています。

平成28年度交付分より、議員ごとの政務活動費の交付状況及びその用途、領収書等を公開しており、現在、令和元年度分までを公開しております。

市議会ウェブサイト、「政務活動費について」よりご覧ください。





子育て拠点整備特別委員会

6月17日

阪南市幼保連携型認定こども園運営事業者の選定結果について

【市からの報告内容】

幼保連携型認定こども園の運営事業者募集について、本年1月14日から募集要領の配布を行い、現地見学会を経て、2月10日から3月19日の期間、応募図書の提出を受け付けたところ、2法人からの応募がありました。

事業者の選定については、選定委員会を設置して、選定基準、採点表の策定などを行いました。

決定事業者として選定した法人は、現在、アルン西鳥取夢学舎を運営している社会福祉法人夢らんど二田です。

事業者は、「地域との交流や連携について、中学校校舎の図書室、家庭科室などを利用して、地域の方が自由に利用できる親子図書館、離乳食や栄養を

考えたレシピ案内や調理教室、発達相談を行いたい。また、自治会や地域老人会、民生委員、校区福祉委員などの

関連団体と連携し、園が立地する地域が抱える問題の掌握に努め、地域ニーズに沿った園運営に努める。さらに、地域の老人を招き、地域の伝承遊びなどの講師をお願いするとともに、お祭りへの参加など、地域に根ざした、地域に愛される施設にしたい。加えて、近隣の漁協や農協若しくは、レストランの出店を促し、地域との協調を図っていきたい。」と提案しています。

また、新園舎建設前に、地域住民・自治会等に対して事前説明会を行う予定です。

今後、令和4年4月の開園に向けて、施設整備、また開園後の施設運営について選定事業者と市及び関係機関で、協議・調整を行ってまいります。

本件についての主な質疑・答弁は、次のとおりです。
※事前説明会は、令和2年7月16日に終了しています

委員 0歳児の受入れについて、3ヶ月から乳幼児保育を実施することであるが、他の園についても、広げる考えはないか。

【委員】

0歳児の受入れについて、3ヶ月から乳幼児保育を実施することであるが、他の園についても、広げる考えはないか。

【部長】

直ちには、難しい点があるが、内部で検討してまいります。

委員 尾崎幼稚園及び保育所の職員の処遇はどうなるのか。

【課長】

正規職員については、他の公立園所に移っていたいただくのが基本であり、会計年度任用職員等については、可能な限り公立園所に移っていただきたいと考えている。

【委員】

保護者等への説明会について、早期に進めてほしいが、いかがか。

【課長】

尾崎幼稚園及び保育所と調整を図りながら進めていきたい。また、市民への周知については、広報7月号に掲載する予定であり、ウェブサイトにについては、一足早く掲載する。本委員会終了後には、プレスへの情報提供も考えている。



編集後記

暑さ厳しい毎日、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨今コロナウイルスの影響で大変な混乱と市民の皆様への大きな負担がありました。阪南市議会としては臨時議会を開催し、コロナ対策として議員報酬を総額約260万円削減、また市に対しては早急に対策を進めるよう補正予算を全会一致で可決しました。

これからも議会一丸となって市民の皆様へ寄り添えるよう、加えて市民の皆様が「ワガゴト」としてまちづくりに関心を持てるよう、精いっぱい頑張らせてまいります。どうぞ皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

上甲 誠

議会広報 編集委員会

- | | |
|--------|--------|
| 委員長 | 角野 信和 |
| 副委員長 | 上甲 誠 |
| 委員 | 河合 眞由美 |
| 委員 | 福田 雅之 |
| 委員 | 中谷 清妙 |
| 委員 | 浅井 妙子 |
| オブザーバー | |
| 議長 | 二神 勝人 |
| 副議長 | 中村 秀人 |

「ご意見」をください

本誌が、皆さんにとってより身近なものになりますよう、内容やレイアウトについての提言等のごようなご意見も結構ですので、ご意見ご感想がございましたら、左記までお寄せください。

T59910292

阪南市尾崎町35番地の1

議会広報編集委員会

TEL471-5680(直)

E-mail gikai-syomu@city.haman.jp